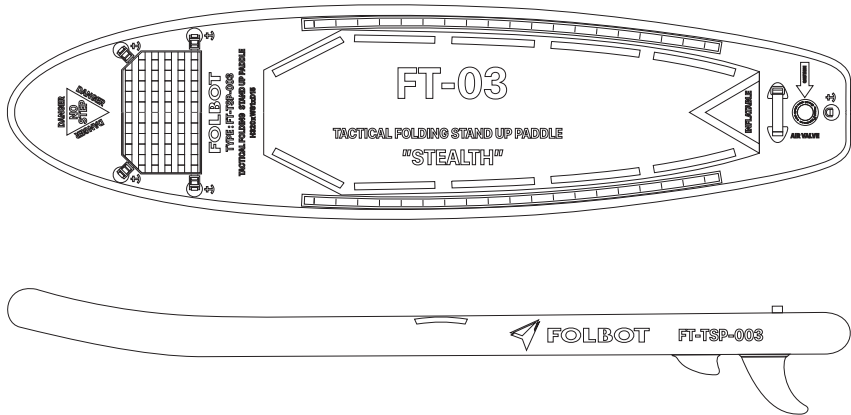


TACTICAL FOLDING STAND UP PADDLE FT-TSP-016 INSTRUCTION MANUAL

スタンドアップパドル
取扱説明書



使用上の注意事項

ボードの使用は安全の為、出航前に空気圧の確認、空気漏れをチェックしライフジャケットまたはライフベスト、リーシュコードを使用し、万が一に備えるようにして下さい。

リーシュコード、フィンなどは毎回損傷がないかチェックし、損傷や劣化が確認された場合は速やかに交換してください。フィンが破損または紛失などの状態での使用は予想以上に体力を消耗します。水上で確認された場合は速やかに陸に上がり、交換、取り付けを行ってからご利用ください。

出航の際は、気候の変化に注意し風向きや潮などの流れをあらかじめ確認してください。また、海上では風や潮の流れが変化しやすいため、過信せず体力にあった無理のない範囲でご使用ください。

水上レジャーは危険を伴うため、単独での出航は避け、周囲に出航時間、帰航時間を知らせておくようにしてください。また、携帯電話やホイッスルなどを携行し安全を優先してください。

漁業区域や航路などの水域、プレジャーボート、遊泳者などが多く、混雑しているエリアなどでの使用は控えてください。

サメからの攻撃によりボードが損傷する危険性があるためサメの多い場所での使用は避けるようにしてください。また、海洋生物により怪我などをした場合は陸に上がり、速やかに手当てを受け、場合によっては医師に相談ください。

遭難や事故などが発生した場合は海の場合は海上保安庁(118番)。湖、河川の場合は警察署(110番)まで直ちに連絡してください。

取扱い注意事項

使用前に内部空気の温度変化により膨張、収縮することをよくご理解いただく必要があります。ボードが置かれている場所、気温、地熱、水温、直射日光などで起因する熱による影響を受けて内圧が上限値を超え、破裂（バースト）を起こす危険があります。

ボードには安全弁が搭載されており、15PSI以上の圧力になると自動的に圧力が調整されますが、推奨空気圧以上の圧力を入れないようにご注意ください。また気温上昇などにより、空気が膨張し破損、破裂の危険性があります。また、炎天下では長時間放置せず、日陰への移動や、低めに圧力を調整するなど、こまめな空気圧管理を行ってください。

（推奨圧力10～13psi）



紫外線により色飛びなどが発生する場合があります。また、強くこすったり、傷がついたりした場合は印刷が剥がれる場合があります。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

移動やセッティングの際は、裂傷が発生しやすい岩や貝殻などの突起物がある場所でのセッティングや移動時の取扱いには十分注意してください。

ご使用の前に空気を入れ、シートの接合部の剥がれがないか確認してからご使用ください。エア漏れや損傷がある場合は付属のリペアキットで補修または、修理業者に補修依頼してください。

ボードの上で鋭利な道具を使用しないでください。またルアーや針などは放置せず、ケースなどに必ず入れてください。

両側面のDリングで荷物の固定の際、過度な力で固定するとボードを破損する恐れがあります。また、指などを入れてつかまったりした際には思わぬ事故やケガなどを恐れますのでご注意ください。



ケースやクーラーボックスなどを取り付けする場合、角部を保護して設置し、転覆した場合でもすぐに取り外せるよう固定してください。

1.同梱物の確認

ボード



パドル



リーシュ



フィン



エアポンプ



キャリーバッグ



リペアキット

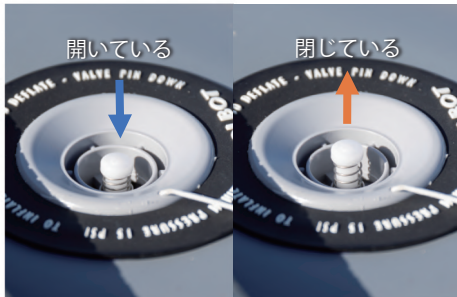


2.ボードの組立



1. 平らな場所にボードを広げ、ポンプの (INFLATE) 側にはースを取付けます。赤いキャップを装着するとダブルアクションになり、素早く入れることができます。

2. ボードのバルブキャップをあけてバルブのプッシュピンが上がっている状態になっていることを確認しホースを取り付けます。



3. バルブのセンターピンが下がっていると開いている状態、上がっていると閉じた状態です。バルブを閉じた状態でホースを取り付けます。

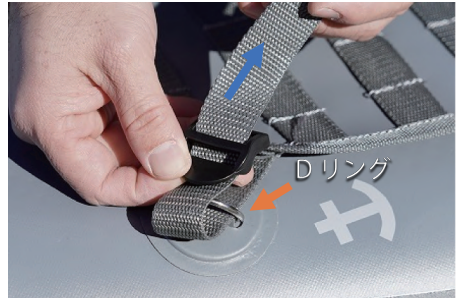
4. ポンプし圧力が10~13PSI程度になるまで空気を入れます。途中ポンピングが固くなってきた時は、赤いキャップを取り外して空気を入れます。適正圧になったらホースを外し、キャップを取り付けます。





5. フィンを前方から差し込みフィンを上から押しつけて取り付けます。ロックピンが下がり自動的に固定されます。フィンがしっかり固定されているかを確認してください。

6. タクティカルマットを取り付けます。ベルトをDリングに通し、アジャスターに下から通します。



7. 外側の穴に通し固定します。

8. 余ったベルトは再度Dリングに通し、内側に収納します。



3.パドルの組立て



1. ロックピンを押し、穴に合わせて差し込み、ロックピンが上がったことを確認してください。
この時、指はさみに注意してください。

2. ロックレバーを緩めグリップを進行方向に注意して差し込みます。



3. グリップのでっぱりが前方に向き、パドルの凸側が前方になります。

4. パドルの長さは身長+20cmになるように調節し、ロックレバーを閉じて締めます。



4. リーシュコードの取付け



1. リーシュコードから、リングになっている紐を外します。

2. 紐を後端の本体のDリングに通し、取り付けます。



3. 取り付けた紐にリーシュコードを通し固定します。



4. マジックテープで足首にしっかりと巻きつけます。



5.ボードの片づけ方



1. ボード全体とアクセサリーを真水でしっかり洗い、乾拭きし乾燥させます。ロックピンを押し下げ、フィンを引き上げるとフィンが外れます。

※砂などの異物が挟まるとピンが動かなくなる場合があります。その際は、ロックピンのネジを外してパーツを外し、内部に詰まった砂やゴミなどを清掃してください。

2. 全てのアクセサリー類を外した後バルブキャップを外し、バルブ中心を押し、空気を抜きます。



3. ある程度抜けた後、ポンプのDEFLATE側にホースを取付け、ポンピングをして空気を抜きます。

4. ボードを折り畳み、ベルトで固定します。この時、きつく巻きすぎるとしわや、割れ目の原因になるので注意してください。





5. バッグ内の固定ベルトでSUPやパドルを固定し、アクセサリ類をバッグにしまいます。

6. 忘れものを確認します。



お手入れ方法

使用後は真水で洗い、砂や小石をキレイに落とし空気圧を下げ、日陰で良く乾燥してから保管してください。

油等の付着物がある場合、中性洗剤で洗い十分に水で洗剤を洗い流してください。

・パドルのお手入れについて

パドルには固定ピンや、長さ調節レバーの可動部があります。使用後には真水でよく洗い、マリン用オイルなどでメンテナンスを行ってください。

紫外線による劣化で破損することがあります。劣化具合や亀裂などを定期的に確認し、問題がある場合は使用を中止してください。

ボードの保管方法

巻いて保管する時は、十分に乾燥させ軽く丸めてください。きつく巻いた場合はボードの変形や、折り目から亀裂が発生しボードが破損する場合があります。

温度湿度の変化が少なく、できるだけ紫外線の当たらない室内に保管するようにしてください。また、ボードの上に物を載せた状態で保管しないでください。

長期保管の場合は劣化を少なくするため3、4ヶ月毎に空気を入れ半日程度、しわ伸ばしを行ってください。

WHERE ARE YOU GOING WITH FOLBOT?

販売元
田村駒株式会社
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-3-10
<https://folbot.jp>

3版発行 2025年 3月